

救命救急講習会



令和5年6月19日（月）附属小学校体育館

松山東消防署の救急救命士の佐伯さんをお迎えして、4年ぶりに救命救急講習会を開催しました。たくさんの保護者の方々に参加していただき、今年は各自講習キットを使用しての心肺蘇生法とAEDの使い方を中心に講習を受けました。

佐伯さんには、モデル機を実際に使用しながらの説明を受け、一人ずつ講習キットで体験しました。参加者からのたくさんの質問にも丁寧にお答えいただき、和やかな雰囲気の中でしっかりと学ぶことができました。

講習キットの中はこのような感じです。

胸骨圧迫がとにかく大事です。圧迫点を確認してリズムカルにしっかり行います。



《参加者からのご意見》

- ・心肺蘇生法を実際に練習することが今までになかったので、勉強になりました。力加減や圧迫の速さなど経験できてよかったです。倒れている人を見つけた時の手順をしっかり理解して、いざという時に落ち着いて対処できるようにしたいと思います。
- ・呼吸停止、心肺停止の人に対し、絶え間なく心肺蘇生法をつないでいくことが大切で、一人ですようとせず質の高いものを行うためにも大人数のフォローが必要だと分かりました。
- ・以前、救命救急講習を受けたが、両手での胸骨圧迫法しか習っていなかった為、子供に対して片手での心肺蘇生法を学ぶことができたことは、今後小学校教員をめざしていることもあり、とても学びのある講習となりました。今回学んだことを同僚や身近な人に伝えていきたいです。

参加された皆さまには大変好評をいただきました。実際に体験することで、見ているだけではなく勇気を持って行動に移すことが大切だと教えていただきました。そのためには、救命救急法を定期的受講することが大切です。